



撮影=齊田 勤
photo by Saida Tsutomu
場所=東京・赤坂にある「つる中」にて

きゆうゆうかい 久友会

古き良き日本の伝統芸能を
残したい……。そんな思

いから1994年11月7日、東
京・赤坂の料亭「口悦」に有志
10人程度が集まって始めた小唄
の会が「久友会」になります。
今回、この久友会が100回と
いう記念すべき節目を迎えま
した。

久友会とは我々の師匠である
赤坂の久子^{くこ}こと、春日とよ艶
子先生の弟子たちと友人が集ま
り、指導を受けながら小唄を披
露。続く芸者さんの踊りを見て
日本の伝統芸能の勉強に励む会
です。小唄はもちろん、西川流

の踊りや三味線も達者な師匠か
らは様々なことを教わっていま
す。

毎回7〜8人が集まる久友会
は春夏秋冬の年4回開催してい
ます。四半世紀、25年という長
い期間続けてきましたので、会
員の入れ替わりはありましたが、
私と同じ昭和4年生まれひろしの
元駐英大使の北村汎ひろしさんと私は
創設時からのメンバーになりま
す。

今回、残念ながら北村さんの
出席は叶いませんでしたが、私
は100回全てに出席。皆勤賞
ですが、経団連の会長に就任した

98年の8月20日に、私のために
お祝いの会を開いてくれたこと
は思い出深いものがあります。

今回の100回記念の会に
は、英さん、初井さん、牧田さ
ん、橋山さんと私という師匠の
弟子に加え、小唄が上手なこと
で有名な桑野さんが久友会に参
加。さらに、別の小唄の会で活
躍されている佐川さんがお祝い
に来てくださいました。

日本舞踊の音楽には「長唄」
「常磐津」「清元」など様々なも
のがありますが、小唄はまさに
それらのいいところ取りとも言え
るでしょう。5〜6分という短

時間で歌舞伎などの印象的な風
景を唄うことができるという手
軽さが大きな魅力です。まさ
に、日本の唄や芝居の粋を集め
たものでもあります。

かつては料亭で小唄を唄うこ
とが盛んですが、時代も変わ
り、小唄を唄う機会も減ってき
ていきます。だからこそ、この日
本固有の伝統芸能を残していく
ことが大切だと思っております。

この仲間たちと、これからも
いろいろな小唄を奏でながら、
日本の伝統を残していきたいと
思っています。

(今井記)



前列左から、佐川八重子(桜ゴルフ代表取締役)、今井敬(日本製鉄名誉会長)、
春日とよ艶子(小唄春日流理事)、英正道(日伊協会名誉会長)
後列左から、牧田和也(日本ビジネスシステムズ副社長)、桑野秀光(曙ブレーキ工業名誉相談役)、
初井勝人(初井事務所代表)、橋山和生(協材興業社長)